

# 2004年3月期決算説明資料

5月24日

**NISSEI** **NBO**

# 実 績

百万円

	2004.3	2003.3	前年同期比	増減率(%)	主な要因
売上高	226,883	231,194	4,311	1.9	繊維減 5,631、プレ-キ減 4,277、紙1,986、化成品1,320、不動産156、その他2,135
営業利益	8,496	5,989	2,507	41.9	繊維1,412、プレ-キ減 689、紙201、化成品364、不動産45、その他1,528、全社費用増 354
経常利益	9,026	5,101	3,925	76.9	持分法投資損益増543、退職給付費用減 292
特別損益	2,245	1,547	698		投資有価証券売却益増2,211、特別退職金増 2,778
税引前利益	6,781	3,554	3,227	90.8	
法人税等	2,807	2,971	164		
少数株主損益	(-)55	(+)194	249		
当期純利益	3,919	777	3,142	404.2	

# 貸借対照表比較

百万円

(資産の部)	2004.3	2003.3	増減	主な増減内容
棚卸資産	41,394	35,795	5,599	日清紡増681 新規連結分(CHOYA、ナイガイシャツ)増4,793
有形固定資産	103,003	104,550	1,547	取得8,989 償却 11,526
連結調整勘定	1,921	-	1,921	CHOYA株式取得に伴うのれん代
投資有価証券	118,001	65,928	52,073	評価差益増53,487 売却 2,360 取得3,657

(負債の部)	2004.3	2003.3	増減	主な増減内容
短期借入金	40,124	40,852	728	CMS導入 5,643 CHOYA増5,352
債務保証損失引当金	506	-	506	関係会社への債務保証の履行に備えるため
繰延税金負債	25,925	3,553	22,372	有価証券評価益増

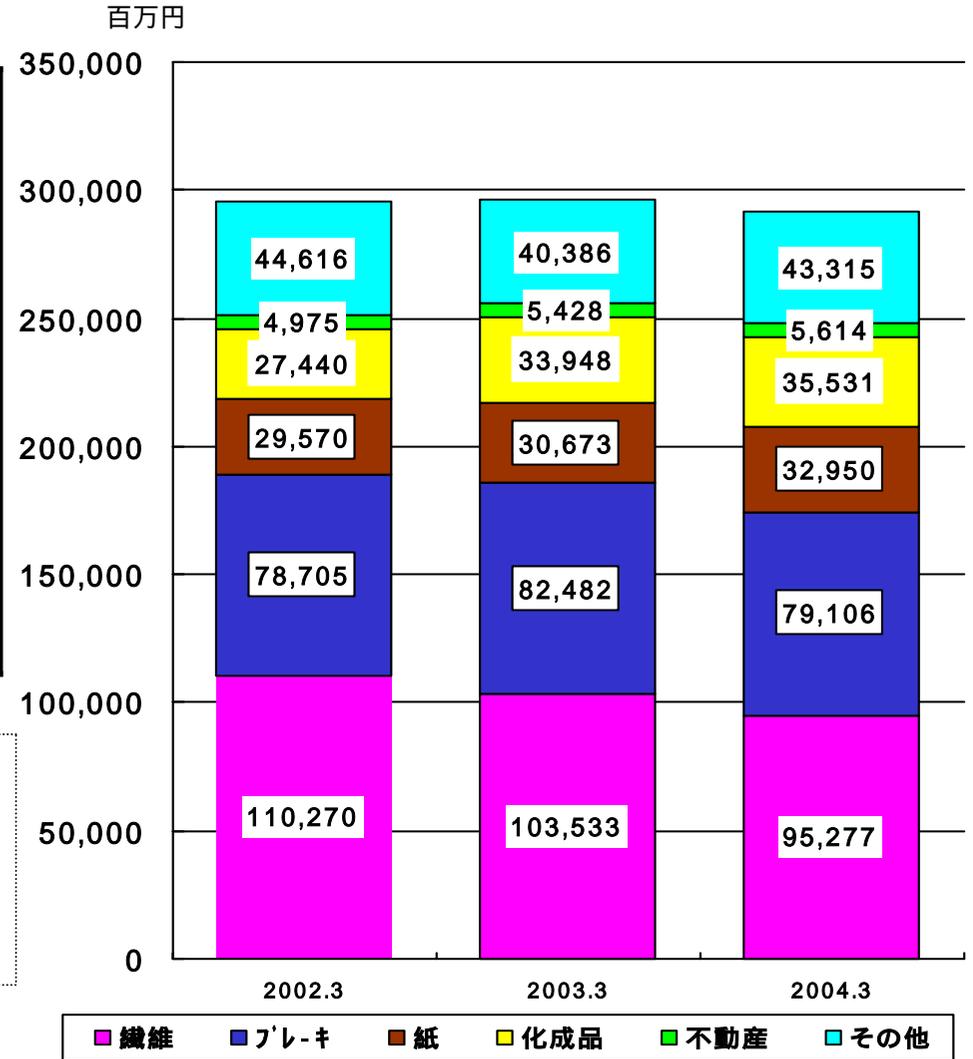
(資本の部)	2004.3	2003.3	増減	主な増減内容
自己株式	5,226	199	5,027	自己株式取得(8,462千株)

	2004.3	2003.3	増減	主な増減内容
有利子負債の額	56,094	55,301	793	CMS導入による減 5,643、CHOYA増5,352

# セグメント別売上高

	2002.3	2003.3	2004.3
繊維	110,270	103,533	95,277
ブレーキ	78,705	82,482	79,106
紙	29,570	30,673	32,950
化成品	27,440	33,948	35,531
不動産	4,975	5,428	5,614
その他	44,616	40,386	43,315
消去	69,740	65,256	64,910
売上高計	225,836	231,194	226,883

繊維: 国内・デニム、シャツ不振 海外・ブラジル日清紡、ニカテックス好調  
 ブレーキ: ABSのコンティネンタルテ・ハスへの移管  
 紙: 新商品拡販  
 化成品: 海外子会社好調  
 不動産: 新規物件  
 その他PDPフィルタ-市場拡大



(消去前の金額)

# セグメント別営業利益

百万円

	2002.3	2003.3	2004.3
繊維	222	687	725
ブレーキ	2,357	5,501	4,812
紙	1,104	1,823	2,024
化成品	205	248	612
不動産	2,247	2,569	2,614
その他	1,820	2,685	1,157
全社費用	63	780	1,134
営業利益計	3,968	5,989	8,496

当期より従来各事業区分に配賦していた基礎的研究に係る費用を配賦不能営業費用として消去又は全社に含めて表示することにした。なお、前期も変更後の配賦方法により組替えている。

繊維 : 停滞在庫評価損減、固定費削減、海外子会社増益から増益

ブレーキ : 国内 補修部品・採用車種減、ABS移管等から減益

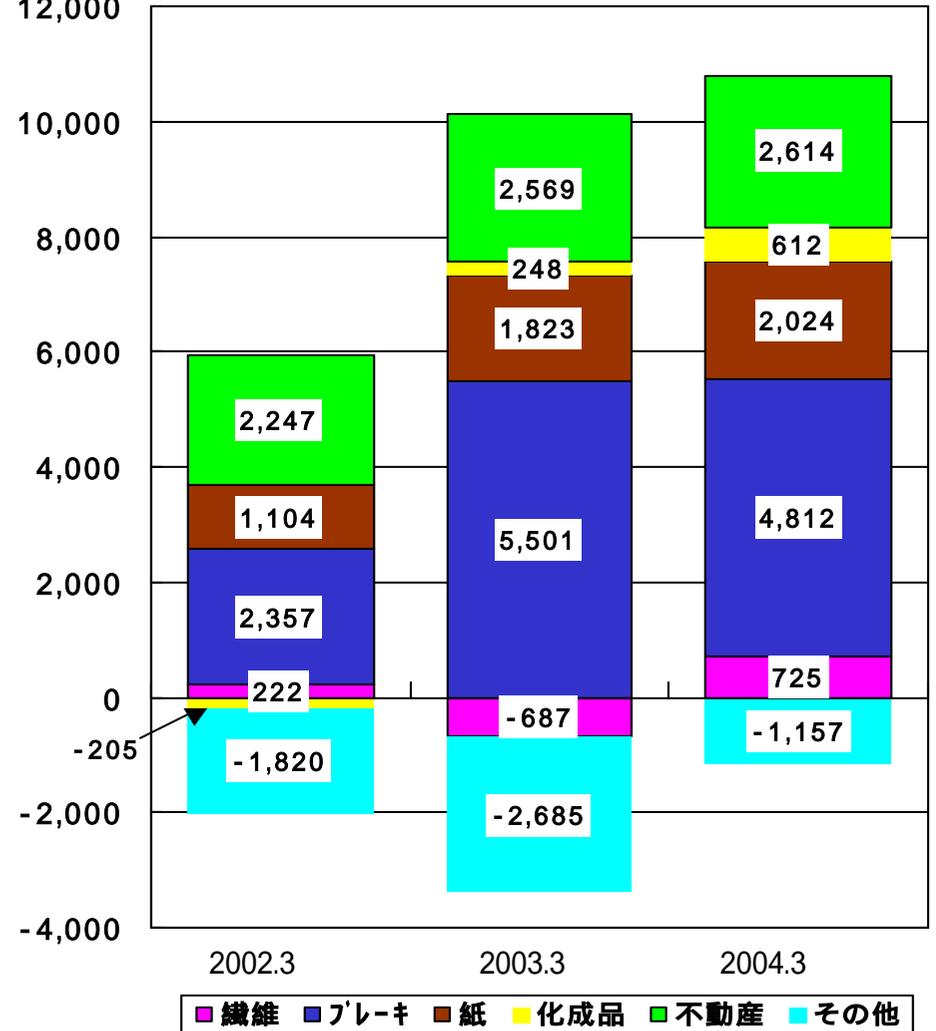
紙 : 新商品拡販、原料パルプの価格安定から増益

化成品 : 新規商品拡販、海外子会社好調から増益

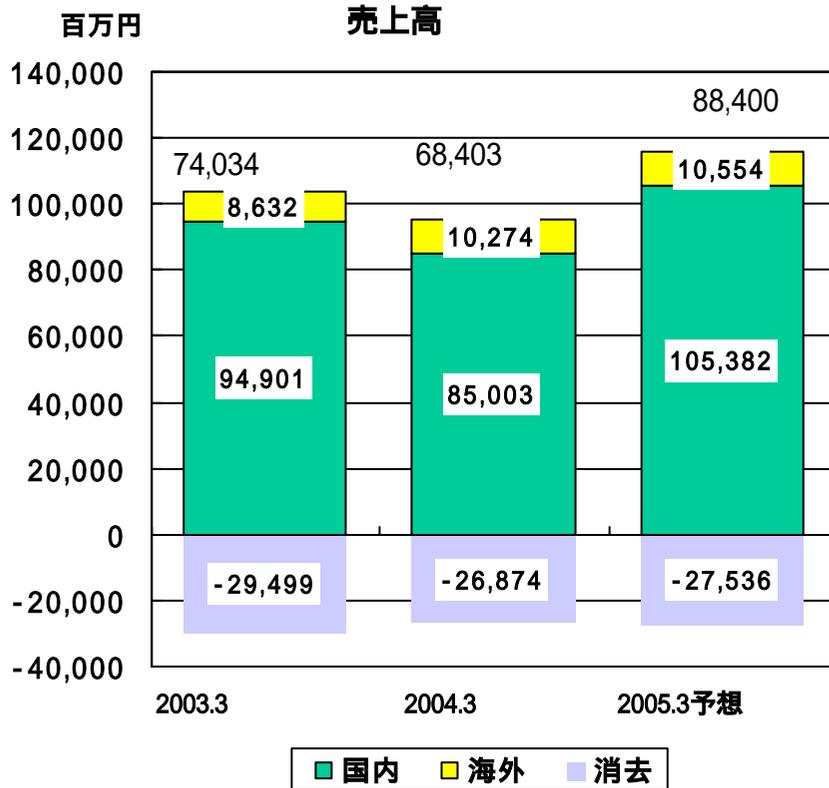
不動産 : 安定収益

その他 : PDP用フィルタ-赤字幅縮小、電子機器合理化効果

百万円  
12,000

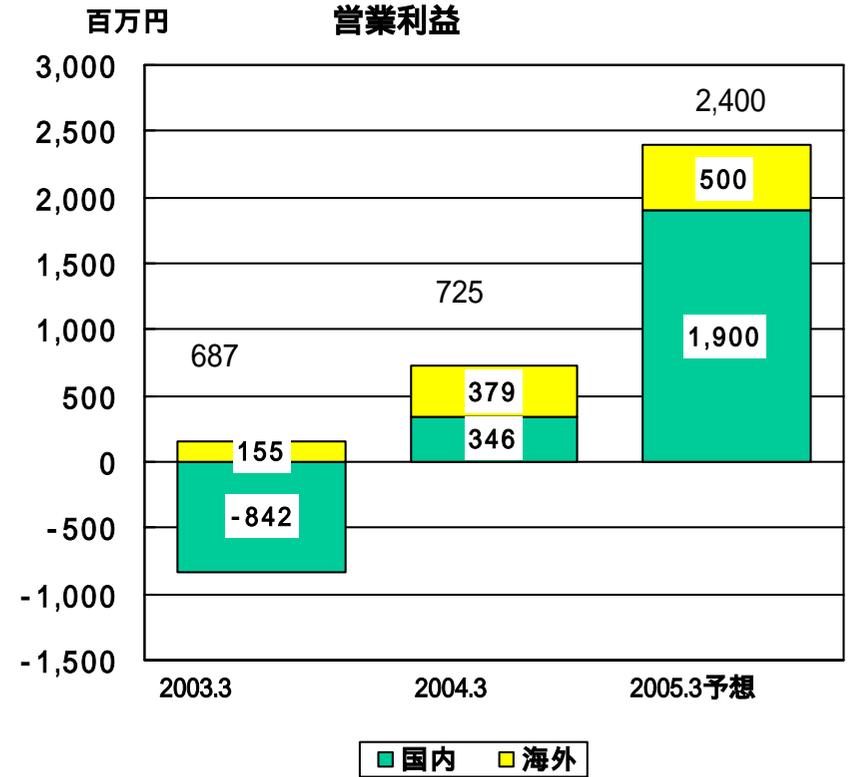


# 繊維事業



2004年3月期: 減収  
 デニムの欧米向輸出不振に対する国内生産調整・シャツの国内外荷動き不振

2005年3月期予想: 増収  
 CHOYA他新規連結増

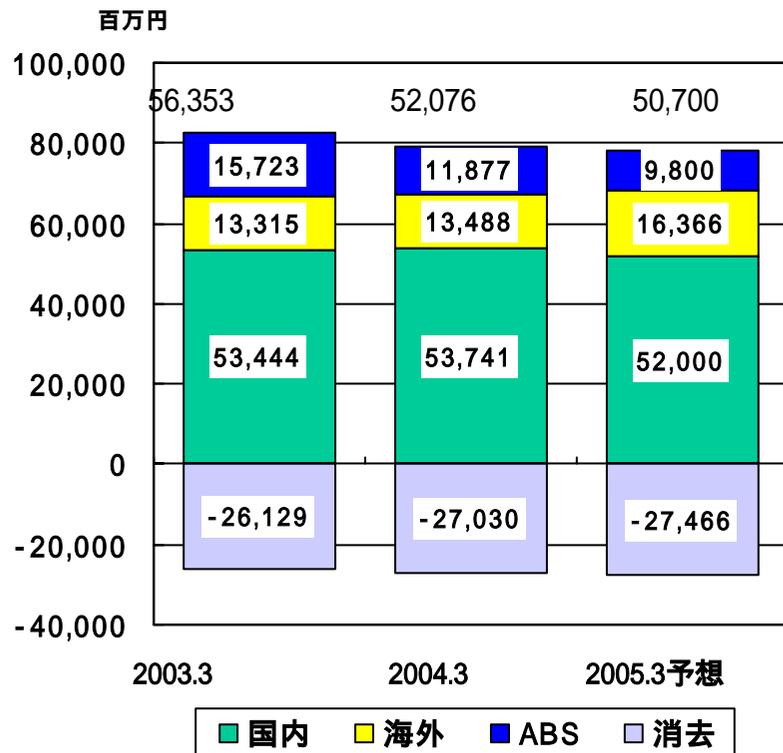


2004年3月期: 増益  
 デニム低迷、退職給付費用増となったが、停滞在庫評価損の減少、固定費削減、海外子会社の増益

2005年3月期予想: 増益  
 厚生年金基金代行返上に伴う退職給付費用減、合理化効果、新規連結分の寄与

# ブレーキ事業

## 売上高



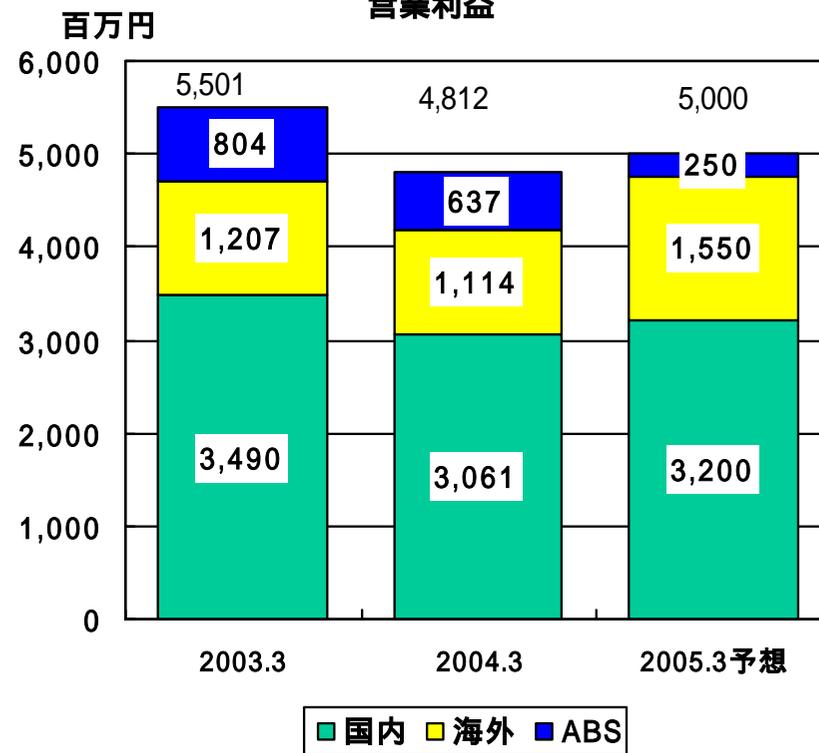
2004年3月期: 減収

- ・海外子会社は円高により円換算の増収幅が圧縮
- ・国内は排ガス規制強化に伴うトラック生産の寄与があったが、採用車種の販売減
- ・ABS製品のコンティネンタル・テ-ハスへの移管

2005年3月期: 減収

- ・海外子会社の新規受注増
- ・ABS製品のコンティネンタル・テ-ハスへの移管

## 営業利益



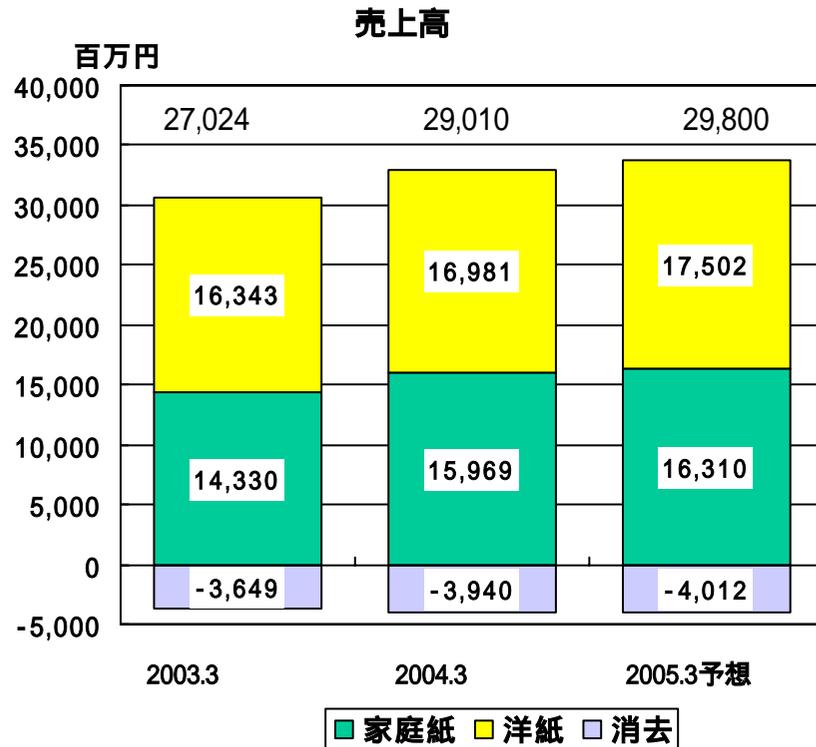
2004年3月期: 減益

海外子会社一部受注減、国内販売減

2005年3月期予想: 増益

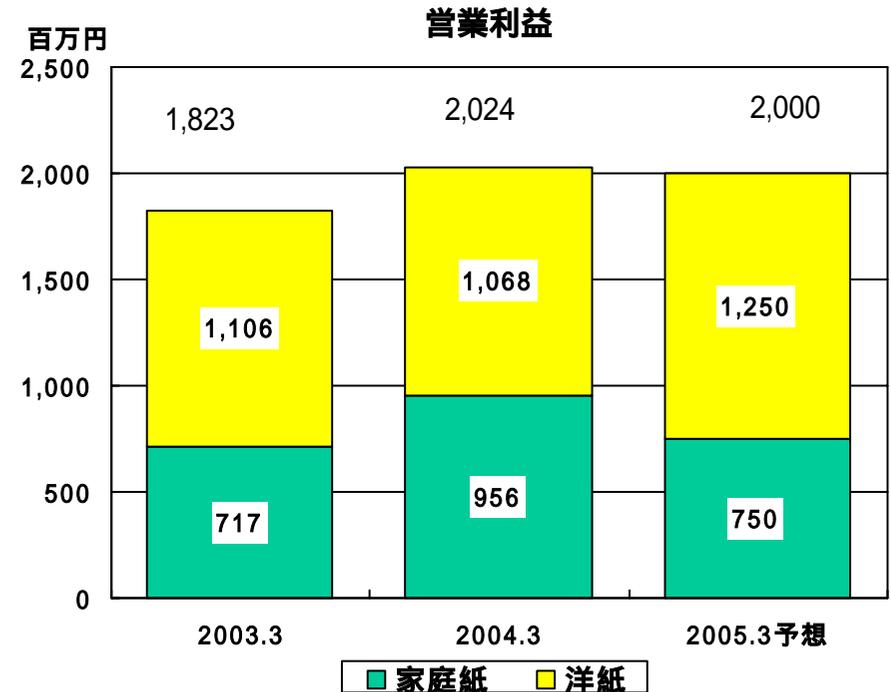
海外子会社新規受注増

# 紙製品事業



2004年3月期: 増収  
 家庭紙は製品価格低迷も新商品の拡販  
 高級印刷用紙好調

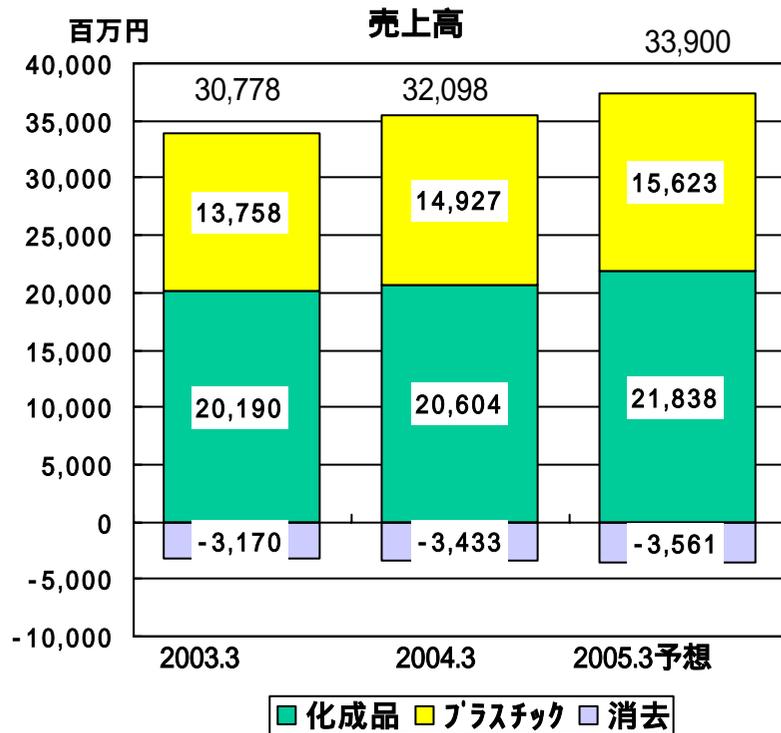
2005年3月期: 増収  
 新商品の拡販



2004年3月期: 増益  
 原料パルプ価格の安定

2005年3月期: 減益  
 原料パルプの価格上昇懸念、製品価格の下落

# 化成品事業

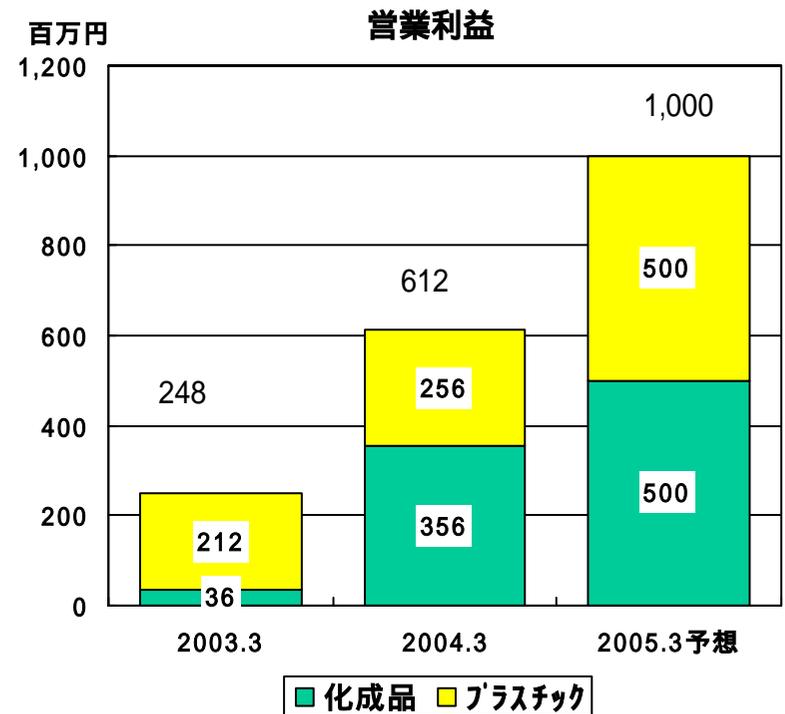


2004年3月期: 増収

ウレタン製品は真空断熱パネル他新商品の拡販  
プラスチック成型加工は海外子会社の市場拡大

2005年3月期予想: 増収

海外子会社の好調、新商品の拡販



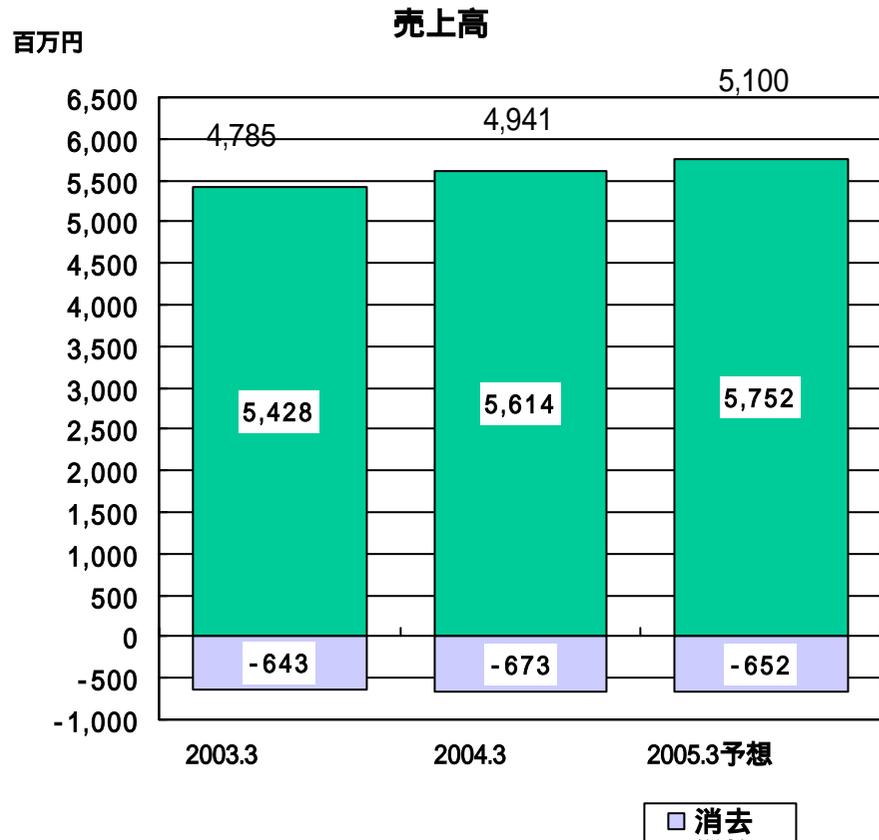
2004年3月期: 増益

売上増、合理化効果

2005年3月期予想: 増益

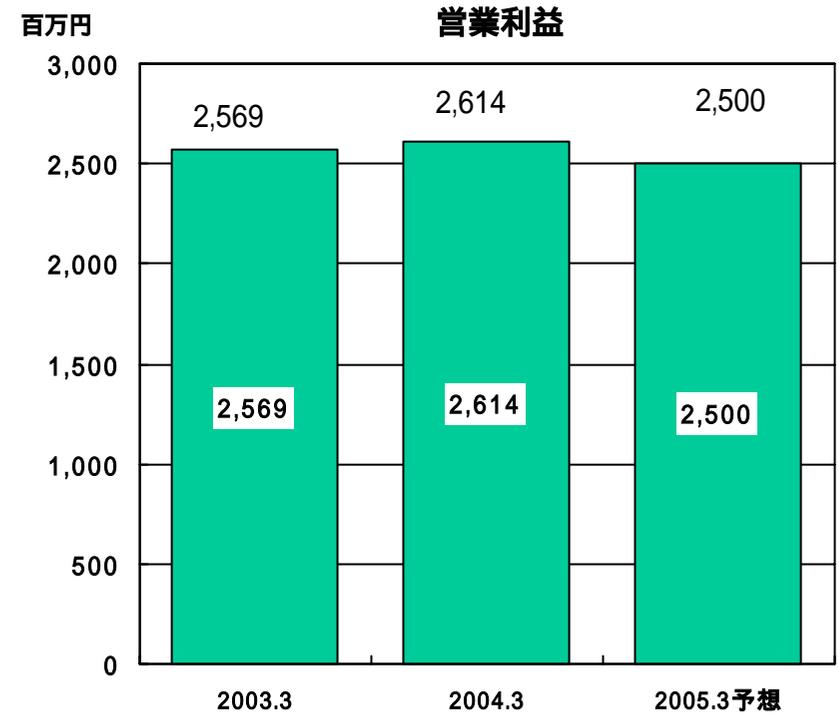
売上増

# 不動産事業



2004年3月期: 増収  
 旧能登川工場跡地のス - パ - 平和堂への賃貸

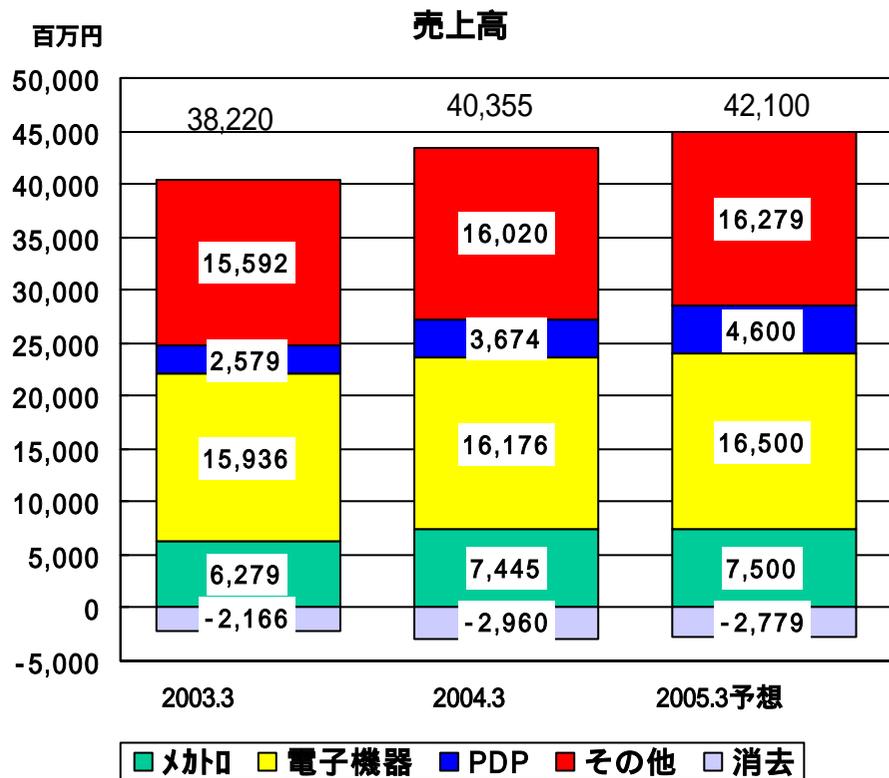
2005年3月期予想: 増収



2004年3月期: 増益

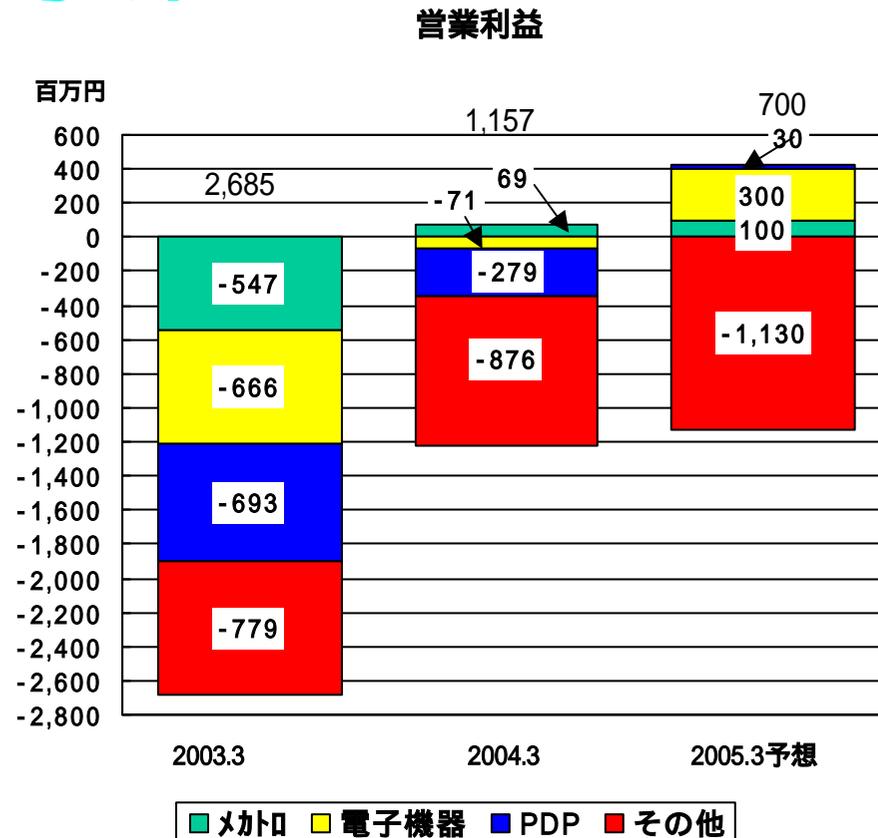
2005年3月期: 減益  
 販管費等増

# その他事業



2004年3月期：増収  
 メカ口・設備投資の回復、OEM製品の受注増  
 電子機器・IT関連業界の好調から  
 PDPフィルタ・市場拡大

2005年3月期：増収  
 設備投資の回復、市場拡大、関連業界の好調



2004年3月期：赤字幅大幅縮小  
 メカ口・設備投資の回復  
 電子機器・IT関連業界の好調から  
 PDPフィルタ・市場拡大

2005年3月期：増収  
 設備投資の回復、市場拡大、関連業界の好調  
 及び合理化効果

# 次期予想

百万円

	2005.3予想	2004.3実績	増減
売上高	250,000	226,883	+23,117
営業利益	11,000	8,496	+2,504
経常利益	12,500	9,026	+3,474
特別損益	1,400	2,245	+3,645
税引前利益	13,900	6,781	+7,119
法人税等	5,000	2,807	2,193
少数株主損益	(-)700	(-)55	645
当期純利益	8,200	3,919	+4,281

売上高

百万円

	2005.3予想	2004.3実績	増減
繊維	88,400	68,403	+19,997
ブレーキ	50,700	52,076	1,376
紙	29,800	29,010	+790
化成品	33,900	32,098	+1,802
不動産	5,100	4,941	+159
その他	42,100	40,355	+1,745
売上高計	250,000	226,883	+23,117

営業利益

百万円

	2005.3予想	2004.3実績	増減
繊維	2,400	725	+1,675
ブレーキ	5,000	4,812	+188
紙	2,000	2,024	24
化成品	1,000	612	+388
不動産	2,500	2,614	114
その他	700	1,157	+457
全社	1,200	1,134	66
営業利益計	11,000	8,496	+2,504

これまでの事業再構築に向けた諸施策が収益に結びつき、増収・増益と予想

(売上高)  
ABSの営業移管による減収を、繊維事業の新規連結CHOYAの売上加算もあり増収

(営業利益)  
事業再構築に向けた施策が収益へと転換

(経常利益)  
持分法適用会社の増益

(特別損益)  
厚生年金基金代行返上益の計上

# 経営3カ年計画2006

(2004.3 ~ 2006.3)

## 本年度スローガン

「収益力の一層の強化と売上の拡大」

### 基本事項

収益力を強化して、企業価値の増大を目指す。

### 重視事項

- ・事業計画:セグメント別事業計画を策定し、実施結果を確認する。
- ・業績評価:業績評価基準により、每期セグメント別業績を評価。
- ・連結経営:グループ会社の経営力を強化。
- ・新規事業:研究開発テーマの事業化を全社的に推進。

## 売上高

億円

	2004.3 計画	(実績)	2005.3 計画	2006.3 計画
繊維	770	684	790	790
プレ-キ	515	521	515	520
紙	290	290	310	325
化成品	330	321	350	370
不動産	55	49	55	55
その他	410	404	430	440
計	2,370	2,269	2,450	2,500

## 営業利益

億円

	2004.3 計画	(実績)	2005.3 計画	2006.3 計画
繊維	17	7	19	20
プレ-キ	42	48	53	58
紙	12	20	13	15
化成品	5	6	8	11
不動産	24	26	25	25
その他	10	11	8	4
全社	-	11	-	-
計	90	85	110	125

# 当社製品(1)



## ハンケアの特長

- ・ 洗濯後も干すだけで美しい仕上がりが
- ・ 綿100%の上品な風合い
- ・ 縫い目の細かいシワも気にならない仕
- ・ 一日中着用しても型崩れしない



SSP



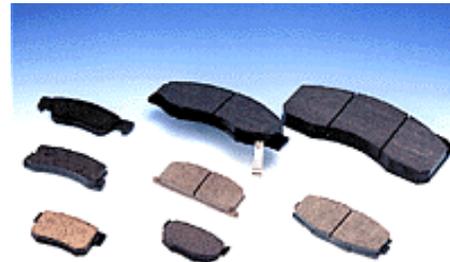
通常品

日清紡SSPは、夢の革新技术「液体アンモニア加工」によって、綿をはじめとするすべてのセルロース繊維の性質を根本的に変化させ、さらに、縫製の後にノーアイロンレベルの形態安定性を持たせるポストキュアの手法を採用することにより、高度の形態安定性を付与したノーアイロン製品です。



## ブレーキライニング

ドラムブレーキ用の摩擦材であるブレーキライニングは、軽自動車から大型トラック・バスまで幅広く採用されています。信頼できる制動力と、様々な条件下での性能安定性や耐久性を持ち、皆様の安全をサポートしています。



## ディスクパッド

ディスクブレーキに装着される摩擦材であるディスクパッドは、普通乗用車をはじめ、軽自動車、スポーツカー、トラックなどの大型車用まで幅広いラインナップをそろえています。優れた制動力と心地よい制動フィーリング、また様々な条件下での性能安定性や耐久性も実現しています。



## ドラムブレーキ

当社のドラムブレーキは、軽自動車からトラックまで幅広いラインナップを誇り、確実な制動力と制動フィーリングを両立させています。

## 当社製品(2)



### アンチロック・ブレーキ・システム)

ABSを装着することにより、雨天時や雪道、悪路などで急ブレーキをかけた場合でも、車輪のロックを防止し、スピンせずにハンドル操作ができるため、安定した制動・停止をすることができます。



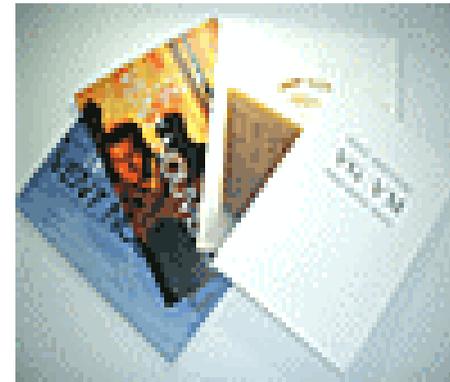
### コットンから生まれた やさしいやわらかティッシュ「コットンフィール」

自然の恵みの中で育った、ピュアコットンとパルプをミックスした日清紡のコットンフィールは、いままでにない、やさしさとやわらかなフィーリングに仕上げました。デリケートな赤ちゃんの肌から、お年寄りまであらゆる方々に安心してお使いいただけます。



### スタビリティコントロール(ESP)

スタビリティコントロール(ESP)は、すべりやすい路面で自動車のハンドルをきっても、安定した走りを得るために開発された最新のシステムです。



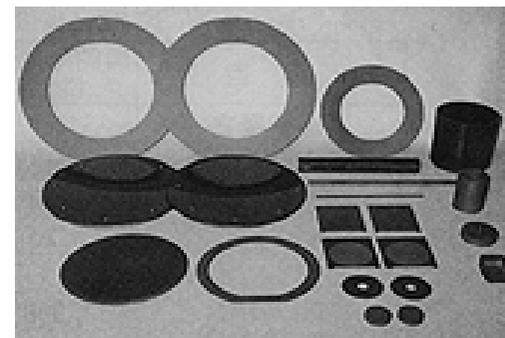
### ファインペーパー

ファインペーパーの風合いと高度な印刷適性をそなえた高級印刷用紙です。書籍、ポスター・カタログ・カレンダー、ステーションナリーなどに使用されています。

## 当社製品(3)



モビロンコードは、弊社独自の技術で開発した熱可塑性ポリウレタンエラストマー(TPU)を押出法によりコード状に成形した商品です。



### ガラス状カーボン

独自の技術で開発したガラス状(アモルファス)カーบอนは、従来の炭素材料と異なり、気孔のない緻密な等方性組織が特徴です。



日清紡 化成品事業部 硬質ウレタン

エアライトフォーム

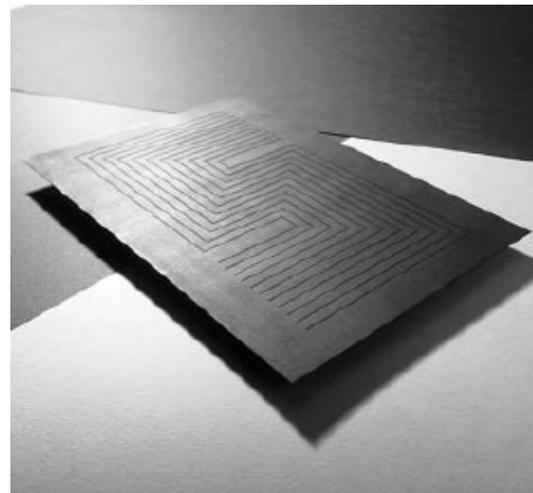
「エアライトフォーム」のブランドでおなじみの当社硬質ウレタンフォームは、お客様の要望に応じ、いろいろな形で販売しております。「エアライトフォーム」は、その優れた断熱性を生かし、冷凍船・冷凍コンテナ等のコールドチェーン関連、LNG、LPGの超低温プラント関連及び住宅設備、建築関連に使用されています。又、断熱材分野以外にも、土木分野、合成木材、スポーツ用品等、幅広い用途があります。

## 当社製品(4)



### プラズマディスプレイパネル用フィルター

壁掛けテレビを実現した次世代ディスプレイ装置として高い注目を集めるプラズマディスプレイ(PDP)。このプラズマディスプレイでは、発光部分から発生する「電磁波」や他の機器の赤外線リモコンへの影響を及ぼす「近赤外線」を外に出さないことが必要です。オプティカル事業部では、電磁波シールド技術と近赤外線カット技術を融合させたPDP用フィルターの量産を開始しました。



### 燃料電池用セパレーター

水の電気分解とは逆に、水素と酸素を結合させて水をつくることで電気を起こす「燃料電池」。燃料電池の種類はいくつかありますが、燃料電池事業部では、固体高分子型燃料電池の心臓部にあたるカーボンセパレーターを開発し、量産を開始しています。

### 電気二重層キャパシター

高温から低温まで、幅広い温度条件に対応可能

日清紡・電気二重層キャパシターは、実装性に優れた角型構造を採用。従来の円筒形のキャパシターに比べ、大幅な省スペース設計が可能になりました

